

『中学美術 教師用指導書 研究・指導編』訂正のお知らせ

弊社発行『中学校美術 教師用指導書 研究・指導編』において、表記に誤記がございました。関係者の方々に深くお詫び申し上げますとともに、先生方におかれましてはご指導の際に以下の内容にご留意いただきますようお願い申し上げます。

箇所	正					
美術1 12ページ	【題材の展開と学習評価の計画例】					
	題材の展開	学習の流れに沿った評価規準	知 技	思 考	態 度	評価情報
	第1次 (1時間) ○題材の導入 ・観察とワークシートを活用した考察 ○主題の創出 ・アイデアスケッチによる考察の掘り下げ	・身近なものや愛着のあるものを丁寧に観察し、造形的なよさや美しさを感じ取り、感想や考えをワークシートに記述している。 ・ワークシートへ記述した内容を基に主題を生み出し、アイデアスケッチをしながら観察を深めて、主題を効果的に表現するための構図や技法について構想を練っている。		鑑 発	鑑賞 発表	・ワークシートの記述 ・アイデアスケッチ
	第2次 (1時間) ○スケッチ制作 ・創出した主題を追究する表現活動 ・表現過程における試行錯誤 ・材料・用具の効果的な活用	・形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えている。 ・全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫して構想を練っている。 ・制作の過程で自らの表現活動を振り返り、構想を修正したり、表現方法を工夫・改善したりしている。 ・描画材料の特性を生かし、意図に応じて工夫して表している。	知 技	発	発表	・行動観察 ・制作途中の作品 ・最終段階の作品
第3次 (1時間) ○題材のまとめ ・作品の相互鑑賞と自己の振り返り	・友達同士でお互いの作品を鑑賞し合い、鑑賞を通じて、友達表現の意図と工夫について考えている。 ・自らの制作の価値付け(自己評価)。		鑑	鑑賞	・発言内容 ・鑑賞カードの記述 ・ワークシートの記述	

箇所	正						
美術2・3上 16ページ	【題材の展開と学習評価の計画例】						
	題材の展開	学習の流れに沿った評価規準	知	技	思	態	評価情報
	第1次 (1時間) ○題材の導入 ・ピクトグラムの鑑賞とワークシートを活用した考察	・教科書に掲載されたピクトグラムを鑑賞し、それぞれの作品に込められた作者の心情や表現の意図、創造的な工夫について読み取り、伝達のデザインに対する見方や感じ方を深めて、感想や考えをワークシートに記述している。 ・ワークシートへの記述を基に、グループでの意見交換と全体共有を通じて、伝達のデザインの意図や表現の工夫などについて考え、ワークシートに記述している。			鑑		・発言内容 ・ワークシートの記述
	第2次 (1時間) ○主題の創出 ・ワークシートとアイデアスケッチによる考察の掘り下げ	・ワークシートを基に、第1次での気付きや感想などを振り返り校内や身近な場所で使用するピクトグラムを考える。伝える相手や場所などイメージなどから主題を生み出している。 ・アイデアスケッチをしながら、主題を効果的に表現するための画面の要素や構図、画材や技法について構想を練り、表現のコンセプトをワークシートに記述している。			発	鑑	・ワークシートの記述 ・アイデアスケッチ
	第3次 (2時間) ○ピクトグラム制作 ・創出した主題を追究する表現活動 ・表現過程における試行錯誤 ・材料・用具の効果的な活用	・形や色彩が感情にもたらす効果や、具体物や行為を表す形の特徴などを基に、伝達するイメージを捉えている。 ・形や色彩などによる伝達の効果と美しさなどとの調和を考えて構想を練っている。 ・制作の過程で自らの表現活動を振り返り、構想を修正したり、表現方法を工夫・改善したりしている。 ・描画材料の特性を生かし、意図に応じて見通しを持って創造的に表している。	知	技	発	鑑	・行動観察 ・制作途中の作品 ・最終段階の作品
第4次 (1時間) ○題材のまとめ ・作品の相互鑑賞と自己の振り返り	・作品鑑賞会における相互鑑賞を通じて、友達の表現の意図と創造的な工夫について考えている。 ・自らの制作の価値付け(自己評価)			鑑	鑑	・発言内容 ・鑑賞カードの記述 ・ワークシートの記述	

箇所	正					
美術2・3下 12ページ	【題材の展開と学習評価の計画例】					
	題材の展開	学習の流れに沿った評価規準	知 技	思	態	評価情報
	第1次（1時間） ○題材の導入 ・自画像の鑑賞とワークシートを活用した考察	・「作者は自画像に何を託したか」をテーマに、教科書に掲載された作品を鑑賞し、それぞれの作品に込められた作者の心情や表現の意図、創造的な工夫について読み取り、感想や考えをワークシートに記述している。 ・ワークシートへの記述を基に、グループでの意見交換と全体共有を通じて、自画像を描く意味について考え、ワークシートに記述している。		鑑		・発言内容 ・ワークシートの記述
	第2次（1時間） ○主題の創出 ・ワークシートとアイデアスケッチによる考察の掘り下げ	・ワークシートを基に、第1次での気づきや感想などを振り返り、「今を生きる私」という大テーマの中で、鏡の中の自分の姿、自分の現実や内面と向き合い、自画像を表現する主題を生み出している。 ・アイデアスケッチをしながら、主題を効果的に表現するための画面の要素や構図、画材や技法について構想を練り、表現のコンセプトをワークシートに記述している。		発		・ワークシートの記述 ・アイデアスケッチ
	第3次（4時間） ○自画像制作 ・創出した主題を追究する表現活動 ・表現過程における試行錯誤 ・材料・用具の効果的な活用	・構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えている。 ・構図や表情などの効果を考えながら、心豊かに表現している。 ・制作の過程で自らの表現活動を振り返り、構想を修正したり、表現方法を工夫・改善したりしている。 ・支持体や描画材料の特性を生かし、意図に応じて創造的に表している。	知 技	発	発表	・行動観察 ・制作途中の作品 ・最終段階の作品
第4次（1時間） ○題材のまとめ ・作品の相互鑑賞と自己の振り返り	・作品鑑賞会における相互鑑賞を通じて、友達的心情や表現の意図と創造的な工夫について考えている。 ・自らの自画像制作の価値付け（自己評価）。		鑑	発表	・発言内容 ・鑑賞カードの記述 ・ワークシートの記述	

以上